

へきけんニュース

ホームページ https://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/

メールアドレス kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp

☎ 0154-44-3291 FAX 0154-44-3292



背景は北海道教育大学釧路校

研究紀要「へき地教育研究」第79号の投稿論文を募集しています

北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター

「へき地教育研究」（「へき研紀要」）は、北海道教育大学のへき地教育・小規模校教育に係る理論的・実践的研究及び調査の成果を掲載し、へき地・小規模校教育研究の蓄積を図るとともに、へき地・小規模校教育、研究の全国的な発展に貢献することを目的として昭和27年度より刊行しています。

今年度は『へき地教育研究』第79号の発刊に向けて論文を募集しております。

北海道教育大学関係者の他、「日本教育大学協会へき地・小規模校教育部門」会員、「全国大学へき地・小規模校教育研究会」会員の方々等学外の方からの投稿も認められており、全国の大学のへき地教育研究者等から投稿していただいておりますので、皆様の積極的なご投稿をお待ちしています。

なお、学内者で令和5年度に研究費助成を受けている方は、研究成果の報告をこの紀要に投稿することになっておりますので、必ずご提出ください。

論文の提出については、以下をご確認ください。

提出・お問い合わせ先		へき地・小規模校教育研究センター事務局 ✉ kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp
提出期限	投稿論文題目	令和6年6月30日（日）
	投稿論文原稿	令和6年8月31日（土）

紀要編集発行要領ならびに提出に必要な様式は、こちらのQRコード（へき地・小規模校教育研究センターHP「紀要編集発行要領」）から閲覧いただけます。



令和6年度へき地・小規模校教育研究センター研究費助成の公募及び 「へき地・小規模校教育研究計画」を募集しています！

北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター

へき地・小規模校教育研究センターでは、へき地教育研究・教育活動を発展させ、全体的な成果を蓄積していくために、下記のとおり、北海道教育大学在職教員を対象に、グループ及び個人で進める研究・教育活動の研究費助成の公募を行います。

本年度は、計画書提出締切を6月28日（金）正午とし、助成に伴う次年度の『へき地教育研究』への投稿論文題目締切を令和7年6月末日、原稿締切を令和7年8月末日とします。提出先はへき研センター事務局です。

へき地・小規模校教育研究は、極めて幅広く、教科教育・総合的な学習・学級経営・生徒指導・学校運営・地域連携・特別支援教育・へき地教育政策など多岐にわたっています。また理論も実践も往還しながら研究が蓄積されています。このように、あらゆる観点からへき地・小規模校教育研究が取り組まれています。今後ともへき地・小規模校教育研究の裾野を広げたいと思いますので、これらに関係する研究を進めたいと思われる方はぜひ積極的な申請を御願います。

研究費助成を受けた方は、次年度の紀要『へき地教育研究』への投稿が義務となりますが、『へき地教育研究』はすでに78号を刊行し、多様な研究成果が蓄積されて、国内外から注目されています。ぜひ多くの皆様に積極的にエントリーしていただきたいと思ひます。

令和6年度は、下記のような方法で募集します。

(1) 研究計画の申請

- * 研究課題は、へき地教育を前提にして3つの領域に属するものとします。
- * 研究計画書の請求は、へき研センター (kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp) までメール
でお問い合わせください。
- * 研究計画書には、研究目的・内容を具体的に記入してください。
また、「へき地・小規模校教育の発展に資する本研究の意義」を明記してください。本研究の目的は、へき地・小規模校教育の研究・教育の発展に資することを目的としています。
- * 経費の項目は、「備品・消耗品・旅費・その他」です。
- * 申請額の上限は10万円、採択件数が多い場合には1件あたり減額される場合があります。
- * 研究計画書（1部）は、6月28日（金）正午までに、へき研事務室に提出もしくは
メール送信してください。
- * 研究費助成を受けた方でまだ『へき地教育研究』に投稿できていない方は、応募することができません。

(2) 研究計画の採否

- * 7月中旬を目処に決定します。

(3) 研究成果について

*研究成果は、次年度の紀要『へき地教育研究』第80号に投稿することになります。

原稿の締切は、令和7年8月末日です。

*なお、可能な限り当センターが主催する“へき地教育推進フォーラム”にご参加頂きたいと思っております。また成果普及を目的として、“へき地教育推進フォーラム”で、話題提供して頂くことがあります。

(4) 研究計画の申請にあたって

研究計画の申請にあたり、投稿原稿は、へき地・小規模校教育に係る研究論文（学術論文としての体裁を有するもの）、研究ノート（実践報告を含む）、その他研究活動に関するものとし、研究論文、研究ノートは、次の3つの領域に属するものとし、①②③の各領域の関連については例示を参考にしてください。

- ①へき地・小規模校教育に関する基礎的・理論的研究
- ②へき地・小規模校教育に関する実践研究（実践報告を含む）
- ③へき地・小規模校教育に関わる地域教育研究

《テーマの例示》

◇学習指導・複式指導・少人数学級経営・生徒指導に関する領域

- ・へき地・小規模校の少人数指導・複式学習指導
- ・へき地・小規模校の教科教育内容
- ・へき地・小規模校の総合的な学習・地域探究学習
- ・へき地・小規模校の社会性を伸ばす学級経営
- ・へき地・小規模校の生徒指導
- ・へき地・小規模校の特別支援教育
- ・へき地・小規模校のICTを活かした教育活動

◇学校運営・地域連携・教員研修・教師教育に関する領域

- ・へき地・小規模校の学校運営
- ・へき地・小規模校の学校-地域連携活動、ふるさと教育、学校の地域づくり教育
- ・へき地・小規模校のカリキュラムマネジメント
- ・へき地・小規模校の教員研修・教師教育

◇特色ある教育活動・特別活動等に関する領域

- ・へき地・小規模校の特色ある教育活動
- ・へき地・小規模校の行事運営

◇へき地校の存続課題・学校統廃合の課題に関する領域

◇大学の教員養成におけるへき地・小規模校教育に関する領域

- ・へき地校体験実習等の運営・教育効果
- ・へき地・小規模校に定着する人材養成

研究紀要「へき地教育研究」第78号が完成しました

北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター



北海道教育大学では、戦後以来毎年、へき地教育に関する学術紀要として『へき地教育研究』を刊行しており、令和6年3月に第78号を刊行しました。

この紀要は、全国の大学研究者に活用されているだけでなく、教育行政・学校など教育各界からも引用されるケースも多く、様々な観点・方法から教育社会貢献に役立っています。この間全国的な少子化・小規模校化の中で、研究紀要の引用や問い合わせ、資料調査訪問などが毎年増えています。

第78号には、13件の論文、研究ノート及び教育実践記録が収録され、この他にもへき地・小規模校教育研究センターの年間の活動記録やフォーラムの様子が掲載されています。

第78号含め一部のバックナンバーは下記のURLやQRコード（へき地・小規模校教育研究センターHP「へき地教育研究」）から閲覧いただけます。



(URL https://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/public/bulletin/edu_research/)

読者の皆様からのへき研ニュースへの掲載記事を募集しています

へき地・小規模校教育に関するトピックや行事案内など、へきけんニュースへの掲載希望がありましたら、原稿や画像をお送りください。

送付・お問い合わせ先

へき地・小規模校教育研究センター事務局

☎ 011-778-0942

✉ crc@j.hokkyodai.ac.jp